

# 国語科（1年）学習案内

## 1. 使用教科書・教材

伝え合う言葉 中学国語1（教育出版） 新・基礎の学習国語1年（新学社）  
 国語便覧（浜島書店） 学習漢字ノート教1（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）

## 2. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## 3. 評価の観点・方法

評価の観点		方法
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	定期テスト、漢字テスト、小テスト等
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。	定期テスト、ワークシートの記述、小テスト等
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。	授業の様子、提出物、授業記録、ワークシートの記述等
(1) 上の観点について、それぞれA～Cの3段階で評価する。 (2) 学習のまとめりにA～Cの観点別評価を総合して、1～5の5段階で評定する。		

## 4. 学習計画

	教材	目標	主な学習内容
4月～7月	ふしぎ	・中学校の学習に関心をもつ。	・詩の音読、朗読
	桜蝶	・文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	・構成・展開・描写の仕方
	お気に入りの一品を紹介する	・伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	・相手に伝わるスピーチの仕方
	文法の小窓1	・言葉の単位について理解する。	・言葉のまとめりの理解
	自分の脳を知っているか	・文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。	・構成・要約
	資料から得た根拠をもとに意見文を書く	考えの中心を明確にして、段落構成を考える。	・情報の整理の仕方 ・引用の仕方
7月	漢字の広場1	・漢字の部首の理解を深める。	・部首の概念理解、部首の確認
	言葉の小窓1	・日本語のもつ音の特徴を理解する。	・アクセント、イントネーション
	内容を整理して説明する	・聞き手がわかりやすいよう話す内容を整理表現する。	・情報と情報の関係

	書写（硬筆）	・文字の大きさ等に留意して書く。	・硬筆の持ち方、姿勢、文字の大きさ
	ベンチ	・人権や平和について考える。	・人権や平和についての考察
	全ては編集されている	・写真の特徴を生かし、活用の仕方について考える。	・情報の整理の仕方
	漢字の広場2	・画数と活字の字体の理解を深める。	・字体、画数、字形
	材料を整理して案内文を書く	・目的や意図を意識して、案内文を書く。	・案内文の書き方
9月～10月	持続可能な未来を創るために	・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	・情報と情報の関係
	森には魔法つかいがある	・問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。	・問いと答え・事実と意見
	文法の小窓2	・文の成分の役割を理解する。	・主語、述語、修飾語、接続語、独立語
	根拠を明確にして意見文を書く	・根拠をはっきりさせて、意見文を書く。	・意見と根拠 ・根拠の明確化
	広告の情報を考える	・目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。	・情報の整理の仕方
	昔話と古典	・古典の作品を知り、仮名遣いにふれる。	・古典特有のリズム・文語のきまり
	物語の始まり	・古典の仮名遣いに注意して音読し、内容を捉える。	・歴史的仮名遣いに注意した音読
	故事成語	・きまりを理解し、文章の響きを味わう。	・漢文訓読、書き下し文
10月～12月	蜘蛛の糸	・わが国を代表する作家とその作品にふれる。	・近代小説の表現
	河童と蛙	・場面と描写を結びつけて読む。	・登場人物の役割、朗読
	オツベルと象	・擬声語、擬態語に注意して読む。	・擬声語・擬態語・場面設定
	随筆を書く	・身近に起きたことなどまとめて叙述の仕方を考える。	・叙述の仕方
	言葉の小窓2	・日本語の文字の特徴を理解する。	・平仮名・片仮名・いろは歌
	書きぞめを書く	・文字の大きさや字間、行の中心など理解して書く。	・文字の大きさ、配列、行の中心
	子どもの権利	・論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。	・事実と意見・構成
	調べた内容を聞く	・相手の話を聞き記録や質問をしながら内容を捉える。	・記録や質問の仕方
	漢字の広場3	・漢字の音と訓の理解を深める。	・音・訓
1月～3月	言葉がつなぐ世界遺産	・筆者のものの見方や考え方を捉える。	・問いと答え
	読み手を意識して報告文を整える	・読み手の立場に立って、文章を整える。	・図表の読み取り・推敲
	文法の小窓3	・自立語・付属語などの分類の基準について理解する。	・自立語、付属語、活用の有無、品詞
	発言を結びつけて話し合う	・話題を意識して話し合い、発言を結びつける。	・情報と情報の関係
	漫画で「物語」を表現する	・漫画の中の絵と言葉との関係を捉える。	・言葉の効果
	漢字の広場4	・熟語の構成の基本的な型を知る。	・熟語
	四季の詩	・それぞれの詩の題材を捉える。	・季節感・詩のイメージ
	少年の日の思い出	・場面の展開等に注意し登場人物の心情変化を捉える。	・心情変化・描写・展開
	言葉の小窓3	・方言と共通語の特徴について知る。	・共通語と方言の役割